

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校
人権課題	高齢者	対象学年・ 取り扱った教科等	中学3年生・家庭科
		時数等	2時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者を理解する。</li> <li>・地域で活動する高齢者や、見守りが高齢者とのかかわりを考える。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様々な高齢者について考え、高齢者の特徴について考えた。（1時間）</li> <li>・場面想定イラストを見て、自分ならどうするか考え、ペアでロールプレイングをした。（1時間）</li> </ul>		
工夫した点	<p>（指導上の工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが高齢者になることを確認し、支え合って生きていく視点を持たせた。</li> <li>・簡単な介助をペアで行い、立ち上がりや歩行などの介助をする際の注意点等を考えさせた。</li> <li>・イラスト画像を使って場面を想定させ、実生活でも高齢者と関わろうとする意欲を高めさせる。また、高齢者との関わり方を疑似体験させる。</li> </ul>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・ 中学3年生社会科（公民）「社会福祉」で学んだことをふまえて、指導を行った。

## 事業成果

- ・ 知識的側面：高齢者に関する正しい知識を身に付けることができた。
- ・ 価値・態度的側面：実践後に、「介助が必要な高齢者に対して、コミュニケーションを図っていきたい」や「困っている高齢者がいたら、声をかけたい」という感想が多かった。
- ・ 技能的側面：疑似体験をしたことで、高齢者への介助のスキルが高まった。

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校
人権課題	子供	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・道徳、 特別活動、学校行事
		時数等	9時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの個性やよさに気付き、相手の思いを受け止め、認め合える人間関係をつくる。</li> <li>・正義と公正さを重んじ、いじめを許さない強い意識をもち、偏見や差別のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級終礼の際に、当番が一言スピーチを行った。（毎日）</li> <li>・構成的エンカウンターを定期的に行い、人間関係づくりを行った。（3時間）</li> <li>・異学年交流の機会を行事ごとに設定した。（3時間）</li> <li>・いじめ問題を取り扱った教材を各学年の道徳で実施し、いじめについての考えを深めた。（3時間）</li> </ul>		
工夫した点	<p>（指導上の工夫）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会主導で学級終礼時に、当番が他者のよいところや心が温かくなったエピソードを発表したり、自分の好きな○○や将来の夢等を話したりする「咲（えみ）エピソード」を全校で取り組んだ。</li> <li>・生徒会主導で、学期ごとに授業オリエンテーションを行い、生徒会執行部の生徒がロールプレイングを行ったり、全校生徒で授業を行ったりして、めざす授業を共有するために工夫した。</li> <li>・スポーツフェスティバルや文化祭、合唱コンクール等の行事に向けて異学年交流を行った。体験活動を通して、他者を理解したり、相手の立場に立ったりできるように工夫した。</li> <li>・道徳では、自分事と捉えられるように導入や振り返りを工夫した。</li> </ul>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・社会科において基本的人権について学習をした。
- ・中学3年生家庭科において「幼児の生活と家族」について学習した。

## 事業成果

- ・知識的側面：いじめはいかなる場合でも決してしてはいけないことだと理解し、自他を尊重することの大切さに気付いている。
- ・価値・態度的側面：道徳のふり返しには「いじめられている人がいたら助けたい」や「助けることは難しいかもしれないが、声をかけて力になってあげたい」という感想が多かった。
- ・技能的側面：「自分と同じように、相手のことを大切にしている」肯定的回答94%（4月）→96%（12月）

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

川北町立川北中学校

人権課題

性的志向・性自認

対象学年・  
取り扱った教科等中学1～3年生・  
特別活動

時数等

3時間

目標・人権教育のねらい

- ・性の多様性について理解を深め、性的指向や性自認を理由とする差別や偏見のない社会をつくるために自分にできることを考え、実践しようとする態度を育てる。
- ・性の多様性について、正しい知識と認識を深め、誰もが一人の人間として、自分らしい生き方のできる社会をつくろうとする意欲を育てる。

実施した内容

- ・校外講師を招き、LGBTQ+、SOGIE、Microaggression等について講話していただいた。  
(1時間)

工夫した点

- (地域や関係機関との連携)
- ・石川県助産師会の方を講師としてお招きし、授業を実施した。学校生活や制服について等、生徒にとって身近な内容から性の多様性について講話していただいた。
  - ・性について相談したり、されたりした際の対応の仕方などをスライド資料を用いて、具体的に示していただいた。

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・保健体育科において学習した、性に関することについて、ふり返らせながら指導した。

## 事業成果

- ・知識的側面：様々な性があることや自己の性について悩み、苦しんでいる人達の実態を知り、正しい知識を身に付けた。
- ・価値・態度的側面：事後アンケートから「性について相談された際には、否定せず、受け止めて、力になってあげたい」という感想が多かった。  
「自分には、よいところがあると思う」  
肯定的回答85.6%（4月）→86.2%（12月）
- ・技能的側面：「自分と同じように、相手のことを大切にしている」  
肯定的回答94%（4月）→96%（12月）

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校
人権課題	女性	対象学年・ 取り扱った教科等	中学2年生・ 特別活動
		時数等	1時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の性の特徴を理解し、互いを尊重しようとする意識を育てる。</li> <li>・性別に関する偏見や先入観をなくし、自他尊重の精神を養う。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外講師を招き、「性といのちを考えよう」というテーマで、思春期の男女の悩みやデートDVについて講話していただいた。（1時間）</li> </ul>		
工夫した点	<p>(地域や関係機関との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県助産師会の方を講師としてお招きし、授業を実施した。事前に講師との打合せを十分に行い、女性のからだの変化や妊娠について、映像資料や写真を用いて、分かりやすく講話していただいた。</li> </ul>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・ 中学1年生保健体育科「異性の尊重と性情報への対処」で学んだことをふり返らせながら指導を行った。

事業成果

- ・ 知識的側面：男女の性の特徴や、デートDVの具体的な事象や対処法について理解した。
- ・ 価値・態度的側面：事後アンケートでは、「男女で生理現象が違い、男性が気付かないところで女性は苦勞していることもあるため、互いに思いやる気持ちを持ちたい」という感想が多かった。
- ・ 技能的側面：「自分と同じように、相手のことを大切にしている」肯定的回答94%（4月）→96%（12月）

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校		
人権課題	障害者	対象学年・ 取り扱った教科等	中学2年生・ 総合的な学習の時間	時数等	1時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある方や福祉の仕事についての理解を深める。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校外講師を招き、障害のある方への接し方や福祉の仕事のやりがい等について講話していただいた。（1時間）</li> </ul>				
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループワークを取り入れ、考えを共有できるようにした。</li> </ul> <p>(地域や関係機関との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉法人佛子園の方を講師として招き、授業を実施した。講師の実体験や映像資料等を用いて、障害のある方との接し方のイメージをもてるようにした。</li> </ul>				

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・社会科において、基本的人権について、総合的な学習の時間をふり返らせながら指導した。

## 事業成果

- ・知識的側面：障害のある方や福祉の仕事について理解を深めることができた。
- ・価値・態度的側面：事後アンケートから、「相手によって態度を変えず、まずは自分から積極的に話しかけてみたい」という回答が多かった。
- ・技能的側面：「思いやりを持った行動ができている」  
「当てはまる」の回答56.4%（4月）→61.2%（12月）

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校
人権課題	戦争と差別	対象学年・取り扱った教科等	全学年・特別活動 中学1～3年道徳
		時数等	2時間
目標・人権教育のねらい	<p>・ 平和な世界を実現するために大切なことは何か考えさせ、国際理解や国際貢献につながる行動をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。</p>		
実施した内容	<p>①「人権講演会『ハンナのカバン～希望にかえて～』」(1時間)          ②「人権擁護委員による道徳授業『アンネのバラ』」(1時間)          ③「アンネフランク・パネル巡回展」(18日間)</p>		
工夫した点	<p>(地域や関係機関との連携)          ①NPO法人ホロコースト教育資料センターの方をお招きし、講演会を実施した。講師から事前課題として戦争について考えさせ動機づけを図った。また、講演会当日は講師の実体験等からご講演いただいた。          ②川北町人権擁護委員の方を講師として招き、授業を実施した。事前に講師と十分な打合せを行い、映像資料やアンネ・フランクの本を用いて、興味関心を高め、発問を工夫して考えを深められるようにした。          ③地域の広報で紹介したり、町内の小学校へお知らせしたりして、地域全体で戦争と差別について考える機会とした。</p>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・ 3年英語科「Mother's Lullaby」において、物語を通して、過去の歴史から平和な社会実現のために自分たちにできることを考えさせた。

## 事業成果

- ・ 知識的側面：ホロコーストやアンネ・フランクから差別問題や歴史について理解を深めることができた。
- ・ 価値・態度的側面：事後アンケートから「生まれた環境、宗教など自分とは異なるものに対して差別したり排除するのではなく、相手のことを理解して受けとめたい」という感想が多くあった。
- ・ 技能的側面：「自分と同じように、相手のことを大切にしている」肯定的回答94%（4月）→96%（12月）

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校
人権課題	アイヌの人々	対象学年・ 取り扱った教科等	中学2年生・ 総合的な学習の時間
		時数等	8時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの歴史と差別の実態を正しく理解する。</li> <li>・アイヌの文化を尊重し、差別解消のために、中学生として何ができるか考え、実践しようとする意欲と態度を育てる。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイヌの歴史や差別の実態など、テーマを決めて調べ学習を行う。（3時間）</li> <li>・調べた内容と提言をスライドにまとめ、発表する。（4時間）</li> <li>・校外講師を招き、アイヌの歴史や差別の実態等を講話していただいた。（1時間）</li> </ul>		
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットや本等、複数のものを活用して、正しい情報が何か判断しながら、調べ学習をさせた。</li> <li>・アイヌに関する人権課題について、自分事として捉え、どうすれば差別をなくすことができるか考えさせた。</li> </ul> <p>(地域や関係機関との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道立北方民族博物館の学芸員の方にオンラインで授業を実施した。講師と事前に十分な打合せをし、アイヌの歴史や差別の実態について映像資料等を用いて分かりやすく講話していただいた。</li> </ul>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・ 2年社会科（歴史）「琉球王国とアイヌの人々への支配」において、アイヌの歴史について学んだ。
- ・ 2年道徳「アイヌの歌を歌いたい」において、自分の思いをかなえるために必要な気持ちについて考えた。

## 事業成果

- ・ 知識的側面：アイヌの歴史や差別の実態について正しく理解することができた。
- ・ 価値・態度的側面：事後アンケートには、日本とアイヌの文化に違いがあるとしても、決して差別をしてはいけないという感想が多かった。
- ・ 技能的側面：様々な方法で、アイヌ民族に対する差別をなくしたり、アイヌ文化を伝承したりしていきたいという生徒が増えた。

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

都道府県・  
指定都市名

石川県

学校名

川北町立川北中学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・特別活動

時数等

1時間

目標・人権教育のねらい

- ・同和問題についての興味・関心を高める。
- ・同和問題についての理解を深める。

実施した内容

- ・校外講師を招き、「人権を-同和問題-から考える」という演題でご講演いただいた。  
(1時間)

工夫した点

- (地域や関係機関との連携)
- ・石川県同和教育研究協議会の方をお招きし、講演会を実施した。生徒が自分事として捉えられるよう、身近な事柄を挙げてご講演いただいた。

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・ 3年社会科（公民）において平等権について学習した。
- ・ 2年総合的な学習の時間において、同和問題について課題研究を行った。

## 事業成果

- ・ 知識的側面：同和問題についての理解を深めた。
- ・ 価値・態度的側面：事後アンケートでは、「相手の気持ちを考え、自分の行動に責任を持ちたい」という感想が多かった。
- ・ 技能的側面：「自分と同じように、相手のことを大切にしている」肯定的回答94%（4月）→96%（12月）

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	石川県	学校名	川北町立川北中学校
人権課題	インターネットによる人権侵害	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年・特別活動 (学校行事)
		時数等	1時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットを使う上でのモラルやマナーについての知識を深める。</li> <li>・ 情報社会において、生徒が自分で情報を正しく理解し、人権を尊重する気持ちをもって適切に判断・活用する力を身に付ける。</li> <li>・ インターネット上のいじめ等について考え、思いやりの心や生命の尊さを体得する。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報モラルの専門家と人権擁護委員を講師として招き、携帯やスマートフォンの活用やインターネット上のいじめ等に関する講演会を行った。(1時間)</li> </ul>		
工夫した点	<p>(指導上の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生にとって身近な内容でお話していただいた。</li> <li>・ ワークシートを使ったり、グループ活動を取り入れたりして、自分事として捉えられるように工夫した。</li> </ul> <p>(地域や関係機関との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NTTドコモのインストラクターの方にオンラインで講演会をいただいた。保護者参加型の講演会とし、生徒と保護者がインターネット活用について一緒に考えられるようにした。</li> </ul>		

## 令和5年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

他教科との  
関連

- ・ 道徳において、インターネットに関する教材を取り扱い、考えを深めた。  
1年 道徳「言葉の向こうに」 2年 道徳「夢中になることは悪いこと？」  
3年 道徳「闇の中の炎」深めたいむ

## 事業成果

- ・ 知識的側面：インターネットを使う上でのモラルやマナーについて正しい知識を身に付けた。
- ・ 価値・態度的側面：事後アンケートでは、多くの情報に惑わされることなく、相手のことを考えて行動したいという感想が多かった。
- ・ 技能的側面：「家族と「インターネットの利用」についてルールを決め、モラルやマナー守ってインターネットを利用している」  
肯定的回答51.7%（4月）→86.8%（1月）